

カリキュラム表の見方

【2011年度入学生】

1. 授業科目

- 1) 科目によっては、開講期間の変更及びカリキュラム変更に伴い開講しない場合がある。
- 2) 第1・2セメスターでは第3セメスター以上に開講される科目を履修することはできない。
- 3) 第3セメスター以上では、第1・2セメスター（下の学年）で開講している科目を履修することができる。
この場合、科目名が変更されている科目、自分の学科のカリキュラムにはない科目などに注意すること。
- 4) 「履修条件等」の欄に記載がある科目は、受講に関する条件をクリアしていないと履修できない。
また、各科目のシラバス中にも履修制限の記載等がある場合があるので、注意すること。

2. 必選別の意味

- 1) ○：必修科目（卒業までに修得を義務付ける科目）、卒業単位数に換算する。
- 2) ●：選択必修科目（決められた科目区分の中から所定の単位数を卒業までに必ず修得）、卒業単位数に換算する。
- 3) ×：選択科目（自由に選択して履修できる）、卒業単位数に換算する。

3. 単位の計算方法（各学期15週を基本とし、1コマ2時間とする）

- 1) 講義・演習科目：週1コマ（30時間）で2単位
- 2) 外国語科目：週1コマ（30時間）で1単位
- 3) 実験・実習・実技科目：週1コマ（30時間）で1単位

4. 1週あたりの時間数

- 1) 80分授業を2時間と計算する。従って、週2回開講する科目は「4」と表記される。
- 2) 「集中」とは、夏期休暇中（サマーセッション）又は冬期・春期休暇中（ウィンターセッション）に実施される授業を指す。

5. e-Learning（e-ラーニング）

カリキュラム表に「*」印を付している科目が、e-ラーニング対象科目である。また、教材はリアルタイムに変更されていくので、日頃から担当教員とコミュニケーションを図ることが大切である。

6. 集中講義

正規のカリキュラムの中にある授業科目のうち、種々の事情から通常の授業時間割上で開講できないもので、夏期または冬期休暇中などに連続的に開講されるものを集中講義と呼ぶ。集中講義については、必ず前もって掲示し、特別のガイダンスが行われることもあるので、掲示やガイダンスによく留意することが必要である。

7. 卒業要件単位の配分

情報処理学科の卒業要件

科目区分		修得すべき単位数	合計62単位以上 修得すること
両学科 共通科目	現代文明論	4単位必修	
	総合教育	選択必修 4単位以上	
	外国語	選択必修 2単位以上	
	キャリア教育	5単位必修	
	スポーツ		
	留学生日本語		
	海外留学		
学科専門科目	8単位必修		
他学科専門科目			
特別履修科目			

但し、他学科専門科目の修得上限は20単位以内

国際文化学科の卒業要件

科目区分		修得すべき単位数	合計62単位以上 修得すること
両学科 共通科目	現代文明論	4単位必修	
	総合教育	選択必修 4単位以上	
	外国語	選択必修 2単位以上	
	キャリア教育	5単位必修	
	スポーツ		
	留学生日本語		
	海外留学		
学科専門科目	選択必修 4単位以上		
他学科専門科目			
特別履修科目			

但し、他学科専門科目の修得上限は20単位以内